

日本人宣教のヒント

シリーズ～福音となったイエス～

2026・7・5

文化の都アテネに来たパウロ

- 聖霊に導かれて海を渡りマケドニア州に来る
- **フィリピでの投獄事件**
- テサロニケでは多くの異邦人が信仰に入ったが、ユダヤ人に妨害された
 - 「彼らは皇帝の勅令に背いて、『イエスという別の王がいる』と言っています。」17:7
- ベレアでも宣教は成功したが、テサロニケからユダヤ人が邪魔しに来た
- シラスとテモテがベレアに残り、パウロー人をアテネに行かせた



フィリピ

テサロニケ

ベレア

アテネ

アテネでのパウロ（使徒17:16-34）

- アテネはギリシャ文明の中心地で、学問や芸能、宗教など文化豊かな都であった
 - 「何か新しいことを話したり聞いたりすることだけで、時を過ごしていた」
- 至る所に**偶像**や**祭壇**があった
- 会堂ではユダヤ人や改宗者、広場では居合わせた人々と毎日論じ合った
 - その中に**エピクロス派**と**ストア派**の哲学者がいた
 - エ) 快楽主義 ス) 禁欲主義
- **アレオパゴス（評議場）**で話すことに



アレオパゴス

(評議場：行政、司法、教育など大切なことが話し合われる場所)



パウロが説教した場所

異邦人に向けて語る

- これまでのパウロの宣教はまずユダヤ人に対して行われた
 - ユダヤ人が集まる「会堂」に行き、安息日に語った
 - ユダヤ人は主なる神を信じ旧約聖書を知っていた
 - イエスのことも噂で聞いていたかもしれない
- アテネでは**何も知らない人々に語った**
 - 創造主である唯一の神を信じていない
 - 旧約聖書を全く知らない
 - もちろんイエスのことなど知るはずもない
 - 多神教である

日本人と同じ

創造主について

- アテネの人々をもちあげる
 - 「アテネの皆さん、あらゆる点においてあなたがたが信仰のあつい方であることを、わたしは認めます。」(22)
 - 心の中では憤慨していたが怒りを抑えて語りかける
- 『**知られざる神に**』という祭壇を取り上げる
 - 「あなたがたが知らずに拝んでいるもの、それをわたしはお知らせしましょう。」(23)
- 創造主は人間の造った神殿には住まない
 - 「**世界とその中の万物とを造られた神が、その方です。**この神は天地の主ですから、手で造った神殿などにはお住みになりません。…人の手によって仕えてもらう必要もありません。」(24-25)

見出すことのできる神

- すべては**創造主**によってもたらされた
 - 「すべての人に命と息と、その他すべてのものを与えてくださるのは、この神だからです。神は、一人の人からすべての民族を造り出して…」(26)
- 求めるなら**神を見出すことができる**
 - 「これは、人に神を求めさせるためであり、また、彼らが探し求めさえすれば、神を見いだすことができるようにということなのです。」(27)
- 私たちは**神の子孫**である
 - 「『我らは神の中に生き、動き、存在する』『我らもその子孫である』」(ギリシャの詩人の言葉) (28)

新しい時代が到来した

- 「悔い改め」を求めておられる神
 - 「さて、神はこのような無知な時代を、大目に見てくださいでしたが、今はどこにいる人でも皆悔い改めるようにと、命じておられます。」(30)
- 人類を平等に裁く準備が整ったから
 - 「それは、先にお選びになった一人の方によって、この世を正しく裁く日をお決めになったからです。」
 - イエスの贖いによって全ての人に罪の赦しが平等に与えられた
- イエスの復活がその証拠である
 - 「神はこの方を死者の中から復活させて、すべての人にそのことの確証をお与えになったのです。」

イエスの「復活」と「裁き」の関係

- イエスの(死と)復活によって、**人類の罪は完全に赦された**
 - 「イエスは、わたしたちの罪のために死に渡され、わたしたちが義とされるために復活させられたのです。」
ローマ4:25
- 全人類(ユダヤ人も異邦人も)**信仰によって義とされる** < **何の差別もない** >
 - 「この神は、割礼のある者を信仰のゆえに義とし、割礼のない者をも信仰によって義としてくださるのです。」3:30
- **全ての人が平等に裁きを免れる方法が確立されたので、** **「裁き」の日**が決められた

聞いた人々の反応

- あざ笑って立ち去った人々

- 「死者の復活ということを聞くと、ある者はあざ笑い、ある者は、『それについては、いずれまた聞かせてもらうことにしよう』と言った。」

- 耳を傾け信仰に入った人々

- 「しかし、**彼について行って信仰に入った者も、何人かいた**。その中にはアレオパゴスの議員ディオニシオ、またダマリスという婦人やその他の人々もいた。」

パウロの説教のポイント

•「神」について

- 天地万物の創造主である(当然唯一である)
- 人間の造った物には住まない(目に見えない)
- 求めれば見出すことができる

•「悔い改め」について

- これまで神は人間の「無知(創造主を認めない)」を大目に見ておられたが
- 「選ばれた一人の方(イエス・キリスト)」によってこの世が裁かれる日が決まった
- **すべての人に悔い改めが命じられている**

日本人宣教のヒント

- 対決ではなく**敬意**を持って
 - 多神教であるのは日本人が悪いからではない
- **創造主**を伝える
 - 多神教で進化論者である日本人にとって、**唯一絶対の創造主**を受け入れることが最も難しいが
- 創造主が何を求めているかを伝える
 - 「(創造主が) **正しく裁く日**」が設定された
 - **キリストによって救われる道が開かれている**
- 信じるかどうかはその人次第
 - 嘲る人もいるが信じる人もいる